

司式 ローレンス・スパーリンク宣教師

前 奏

奏楽 五十嵐美代枝姉妹

開 会 招 詞

\* 賛 美 歌 31:1 栄えに満ちたる神の都は

栄えに満ちたる神の都は ちよへしいわおのいしづえかたく  
救いのいしがき 高くかこめば み民の安きを誰かは乱さん アーメン

\* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 3 罪 の 告 白 ②

主なる神よ、あなたの御前に背きの罪を告白します。わたしは聖なる戒めに従わず、失われた羊のように迷い出て、思いと言葉と行いにおいて罪を犯しました。しなければならぬことをせず、してはならぬことをして、自分の身に、あなたの怒りと裁きを招きました。憐れみに富んでおられる父よ、罪と過ちを悲しむわたしに憐れみを注いでください。神の独り子である救い主の名によって、わたしを赦してください。聖霊の恵みによって、わたしを新しく生まれ変わらせてください。願わくは今から後、み栄えのために生きる者とならせてください。主イエス・キリストの御名によって。

アーメン。(詩編32、イザヤ53、ローマ7)

罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。(出エジプト20、申命記5)

\* 賛 美 歌 31:3 み恵み受けつつ生くる御民は

み恵み受けつつ生くる御民は はかなき楽しみ むなしき富に  
誇れる世人のあざみにあえど こよなき喜び つゆも変わらじ アーメン

公 同 の 祈 禱 祈 禱 書 10 降 誕 節 第 三 主 日 受 肉

栄光の主なる神さま、あなたを賛美します。イエス・キリストの誕生において、神の言葉は肉となってわ

たしたちの内に宿られました。わたしたちが、闇の支配から愛する御子の支配下へ移されるために、神の御子が、世を照らす光となってくださいましたことを、心から感謝します。わたしたちを暗闇の中から、驚くべき光の中へと招き入れてくださった、あなたの力ある御業を、広く伝えることができますように。  
(ヨハネ1、コロサイ1、Iペトロ2)

祈祷書39 教会設立記念日 (12月第二主日)

教会のかしらイエス・キリストの父なる神さま、この町にも教会をお建てになり、この世に神の国を拡げていく宣教の基地としてくださいましたことを感謝します。この教会を愛し、主に仕えた全ての聖徒たちを覚えます。彼らのように、わたしたちを祭司の民として、あなたに仕えることができるように、力を与えてください。  
(エフェソ1、Iテモテ3、Iペトロ2)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) キリスト改革派日本伝道会を覚えて 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

洗 礼 式

聖 書 朗 読 コリントの信徒への手紙二 8章1-15節 (新約聖書333頁)

説 教・祈 禱 「豊かな富を与える主」 L. スパーリンク宣教師

\* 賛 美 歌 101:1.2 命の泉に

- 1 命の泉にましますイエスよ 豊かに流れてうるおしたまえ  
まことの言葉に渴きし我も 主の手にすがりて喜び進まん
- 2 神より離れて迷いし我を イエスキみ見い出したまいし日より  
恵みにもれたる時は無かりき すべての事をば善きにしたまわん

\* 主 の 祈 り 祈祷書1

天にまします我らの父よ

願わくは御名をあがめさせたまえ

御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を 今日も与えたまえ

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ

我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ

国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

\* 頌 栄 69 父の御神に・御子に・聖き御霊に

昔ながらの み栄えあれや ときわに アーメン アーメン

\* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告 門脇献一長老 (司会・受付 次週：古澤純一長老)

本日 受付 1階：佐藤紀子・古澤迪子執事 2階：藤原宏章執事 / 動画：雨宮信長老 録音：大日南信也執事

次週 受付 1階：那珂信之・長尾牧執事 2階：星野房子執事 / 動画：森川莞太兄弟 録音：番場 駿也兄弟

※ 2グループ制により、長老も1階と2階に一名ずつ加わります

## 説教題：「豊かな富を与える主」

参 照：ハイデルベルク信仰問答問 Q. & A. 37, 60-61

説教者：ローレンス・スパーリンク（キリスト改革派日本伝道会宣教師）

中心的主張点：イエス様のおかげで、大いなる相続分を与えられ、誠に富む者とされます。

### コリントの信徒への第2の手紙、8章1-15節（9節を中心に）(新約聖書333頁)

兄弟たち、マケドニア州の諸教会に与えられた神の恵みについて知らせましょう。彼らは苦しみによる激しい試練を受けていたのに、その満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなったということです。わたしは証しますが、彼らは力に依りて、また力以上に、自分から進んで、聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願い出たのでした。また、わたしたちの期待以上に、彼らはまず主に、次いで、神の御心にそってわたしたちにも自分自身を献げたので、わたしたちはテトスに、この慈善の業をあなたがたの間で始めたからには、やり遂げるようにと勧めました。あなたがたは信仰、言葉、知識、あらゆる熱心、わたしたちから受ける愛など、すべての点で豊かなのですから、この慈善の業においても豊かな者となりなさい。わたしは命令としてこう言っているのではありません。他の人々の熱心に照らしてあなたがたの愛の純粋さを確かめようとして言うのです。あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。この件についてわたしの意見を述べておきます。それがあなたがたの益になるからです。あなたがたは、このことを去年から他に先がけて実行したばかりでなく、実行したいと願ってもいました。だから、今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることです。進んで行う気持があれば、持たないものではなく、持っているものに依りて、神に受け入れられるのです。他の人々には楽をさせて、あなたがたに苦勞をかけるということではなく、釣り合いがとれるようにするわけです。あなたがたの現在のゆとりが彼らの欠乏を補えば、いつか彼らのゆとりもあなたがたの欠乏を補うことになり、こうして釣り合いがとれるのです。「多く集めた者も、余ることはなく、／わずかしか集めなかった者も、／不足することはなかった」と書いてあるとおりです。

### 序説： 父の文句：「毎回お金の話ばかりするのではないか！」

私は宣教師だから、定期的に自分の国に帰り、祈りのパートナーと経済的に支えてくださる支援者に日本の宣教状況と宣教のニーズを訴える活動が求められています。母教会で報告会と一緒に礼拝説教をします。そこである時、父から次のような文句を言われました。「毎回お金の話ばかりする。いやだよ！」よく支援してくださる母教会の皆さんは 世界一に近い物価の高い日本に派遣されているから、他の国と比べて、確かにお金がたくさん必要なことをよく知っています。本部は募金の目標を定めて、これに達しないと再派遣を遅らせることもありえます。「もっと捧げていただけないか」と、毎回話すのは健全ではないかもしれませんが、厳しい現実があります。日本の諸教会にも生存するには兄弟姉妹の犠牲的献金も不可欠ですので、こんな話を日本にも避けられないでしょう。献金は私たちの信仰生活の大切な一部分であり、これによく励むのは健全な霊性を評価する大切な資料です。そこで、使徒パウロの今日のような聖書箇所があることが当たり前ですね。でも、「毎回献金の話ばかりではないか。」と父の声の響きがありますので、バランスのとれた説教にしなければならないでしょう。けれども、アメリカの教会に献金を訴えるに当たって、日本の教会やクリスチャンがどんなによく励んでいるかをお話しできることが宣教師と

して誇りに思い、報告することができることが大きな恵みです。感謝です！ここの皆様もよく励んでおられることが教会のテーマ、「受けるより与える方が幸いである」ことの実現です。これからもそうあることを信じます。

## 1、お金や富の事が聖書によく出てくる。

献金を別にして、お金や富の事は聖書によく出てきます。私たちにとって大事なものだからです。富や金や財産のような言葉で聖書に検索してみれば、本当によく出ます。旧約聖書にヨブとか、アブラハムとか、ソロモン王など、金銭的に富んでおられ、たくさんの財産を持っていました。これも神様の祝福によっていました。でも、このような嬉しい例もあれば、必ずしもポジティブなのではない場合もたくさんあります。自分の財産にあまりにも愛着がありすぎて、イエス様に従う邪魔となる例もあります。今日も同じです。自己中心で自分の財産を一生懸命に増やし、不敬虔のままの人が大勢います。また、信仰も自分の富を増やす一つの方法だと考える者もいます。これは今日の世界中の教会にある一つの大きい問題です。「Prosperity Gospel」というキリスト教的異端があります。この世の富を欲しがる世の人々に、「お金持ちとなる方法として、牧師や教会にたくさん献金しなさい。そうすれば、神様が何倍もの財産を注いで下さる」と言います。つまらない話だから、あまり細かく取り上げませんが、米国の豊かな国にも、慢性的に貧困で苦しむアフリカなどの国々にもあります。これははっきり言って詐欺であり、不幸なことです。その場合は大抵大金持ちとなるのは牧師だけです。実は使徒パウロもこのような悪質な教師に注意しなさいと書簡でたまたま呼びかけています。

## 2、天の神様は私たちの日常生活に関心がおありだ。

しかしながら、神様が私たちの日常の必要をご存知で、備えてくださるお方であることを聖書がよく教えてくれます。お金を作る能力も主からの賜物である。申命記8章18節に次の指摘があります。「むしろ、あなたの神、主を思い起こしなさい。富を築く力をあなたに与えられたのは主であり、主が先祖に誓われた契約を果たして、今日のようにして下さったのである。」そして、その他の多くの箇所で、掟を守り、収穫と収入の十分の一を捧げる民に、主が豊かに必要を満たすと約束しておられます。イエス様の有名なお話ですが、心配や思い煩いをやめなさいと言ひ、全能の主が小鳥たちにも気を配って必要なものを備えてくださるのではないかと指摘して下さいます。詩編145篇に次のように書いてあります。「主はすべてのものに恵みを与え／造られたすべてのものを憐れんでくださいます。... よろずのもの目はあなたを待ち望んでいます。あなたは時にしたがって彼らに食物を与えられます。あなたはみ手を開いて、／すべての生けるものの願いを飽かせられます。」（145篇9、15-16節）。だから、余計な心配をやめ、むしろ、まず、神の国とその義を求めなさいとイエス様が勧められます。そして、持っておられる富を上手に 神を恐つつ用いなさいとおっしゃいます。

## 3、知恵を絞って財産を不幸なものの祝福となるように用いることを求める

その場合は聖書によく出てくる寡婦と孤児と在留異国人の困窮を覚えて助けることが主のみ心であることが分かります。例えば、旧約聖書の掟にも、ヤコブの手紙にもあります。そのように思い、今日の聖書箇所にも、困難な状況にあったユダヤの教会の人たちを助ける思いが自然と小アジアやギリシヤの諸教会に現れました。迫害があって、またある時に飢饉が起きましたので、助けの手を述べましようと、いわゆる異邦人の諸教会がパウロ達に申し出ます。募金の運動がちゃんと完成して、実りとしての献金をエルサレムの教会に届けなさいとは 今日聖書箇所の趣旨です。中途半端で終わることはマズイです。約束されたように実行しましょうというわけですね。

私たちにもこのような活動がたまにあります。自分の教会用のためだけでなく、周りの社会の恵みとなるように、あるいは、特に困っている方々の役に立つように捧げ物をします。福祉的活動、被災者支援の活動、世界宣教の活動、お見舞いとお祝いのプレゼント、様々あります。これはすべての時代の神様の民に見られます。ヨブもアブラハムも困っている者が周りにいれば、財布を開いて、助けの手を出すのです。これはキリスト教固有のすることだけでもありません。誰でもが賞賛する美德です。しかしやはり、捧げ物に励むことが神様からの特別な特権であり、賜物であると今日の箇所から分かります。

今日の箇所、そしてその前後にある言葉は、パウロが捧げ物の趣旨と在り方について教える大事な箇所です。これについて全部の勧めを話すわけにはいきませんが、ここにあるとても素晴らしいことを少しだけ集中的に見たいと思います。それは9節です。

#### 4、IIコリント8:9節は隠れた宝石のような箇所である。

もう一度読みます。「あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。」献金運動を話している途中にこの隠れた宝石のような言葉が輝いています。待降節にこそ覚えるべきことがここにあります。イエス様の犠牲はカルバリーだけではなかったことです。全能の主の永遠のご計画によって、富んでおられる神の独り子が、私たちを富む者とするために、自ら何もかも捨ててくださり、この世においてになりました。すべてをお造りになった主ですが、ご自分で身分の極めて低いものとなられて、私たちの間に宿り、私たちの代表また身代わりとなって、己の命を捧げて下さいました。

そこで、今日のメインポイントに來ました。イエス様ご自身が次のようにおっしゃいました。マルコによる福音書10章45節：「人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために來たのである。」これは前回見た箇所ですね。私たちの負い目をご自分で引き受けて、奴隷だった私たちの解放のための代価を自分の命を持って支払います。しかし、今回の聖書箇所からさらに素晴らしい救いの現実が現れています。負債を支払うとともに、計り知れない財産を私たちにお与えになります。奴隷を自由人にするだけでは、まだ何も持たないままです。ただ、負債がなくなるだけです。しかし、主がアブラハムに約束なさったように、アブラハムと同じ信仰を持つものに、豊かな財産を、限らない富をお与えになります。象徴的に言えば、乳と蜜の流れる土地、神が最初に造られたアダムとエバに住ませたエデンの園、命の木から食べる特権、主ご自身がご一緒になってインマヌエルとなり、いつまでも見守ってくださる良き羊飼いとなります。永遠にです！

ある神学者はイエス様の犠牲を「消極的服従」と呼んでいます。受け身となった救い主が黙って私たちの受けるべき罪への裁きをご自身で受けるわけです。でもそれだけではあります。イエス様はまた積極的に私たちのように失敗者となるのではなく、一度も背くことなく神の掟を完全に守ってくださいます。神の律法を完全に守るものに死に代えて、命を獲得します。だからこそイエス様が復活なさいます。そして今度は、ご自身で獲得しておられる豊かな命を、永久の命を、ご自分の民にお授けになります。ですから、払いきれない負債を担う者だった私たちが今度、計り知れない財産を持つ身としてくださいます。これは自らの一方的恵みにより価なしに信じるご自分の民に与えます。

これをどのように説明するかと考えて、一つの例えに思いつきました。ここに私の預金口座の通帳があります。自分の全財産を貯金していることに考えてください。さあ、銀行のATMに入れて、通帳金曜のボタンを押しておきます。通帳が戻ってきたら、開いてみると、何と、何兆円のマ

マイナスになっているではないか！一生涯の賃金を入れても、いつまでもマイナス残高です！でも、主イエス様が私の負い目をご自身で支払ってくださるはずですから、通帳をもう一度入れて、通帳記入のボタンを押す。通帳が出てきました。何と、残高がゼロではないか！負い目が消えてしまいました！これはイエス様の消極的服従の結果です。でも、まだ何も持たない貧乏人ですね。でも、イエス様が命をその積極的服従によって獲得してくださったと言うではないか。通帳をもう一度入れます。通帳記入。出てくるのを待つ。出てきた！何と、記入できないほどの数字になっています！やった！神様の恵みのプレゼントです。いつまでも、実に永遠に困ることのありえない豊かさをくださいました。

主イエス様の愛の犠牲と代表としての服従、両方から救いがあります。そこでパウロは、主イエス様の愛を模範にして、私たちも心を尽くして、犠牲を払い、不幸なものを幸せにするように励むのだと勧めるわけです。泣くものとともにただ泣くだけなのではなく、嘆くものに喜びと平安が与えられるように努めようではないかと、奨励してくださいます。彼らの痛みを共に担い、彼らの癒しを共に追い求める。

## 5、イエス様の受肉の意味を再確認しよう。

使徒パウロはフィリピの信徒への手紙の2章でイエス様の救いの業を、特にその謙りと犠牲を語ります。有名な箇所です。これを確認しましょう。「めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。」キリスト・イエス様はそうにして私たちに神の子となる資格を得る道を備えてくださったのです。

またここで、主のもう一つの約束を思い出しましょう。マルコ10章29-30節にあります。

「はっきり言うておく。わたしのためまた福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子供、畑を捨てた者はだれでも、今この世で、迫害も受けるが、家、兄弟、姉妹、母、子供、畑も百倍受け、後の世では永遠の命を受ける。」私たちが捧げる分は主が何倍も持って恵みを注いでくださいます。イエス様ご自身の約束です。そして、これは本当であることを私も証しできます。

**決論：**すべてをお捧げくださった主イエス様に見習い、大胆に捧げる民となりましょう。「天に宝を積むもの」となりましょう！後悔することはありません！あなたもきっと主の与える富に驚くでしょう！

**祈祷：** 恵み深い 愛する天の父なる神様、いつもすべての良きもので豊かに満たしてくださることを覚え、心から感謝いたします。正しい者にも正しくない者にも雨を降らせ、実りの季節を与え、喜びを味わわせてくださいます。しかしそれ以上に、救い主を備え、あなたの慈しみ深いことを示し、私たちの罪が赦され、永遠の住処、ご自身の愛する民としてくださることを感謝いたします。それは世にいられたあなたの独り子をただ信じることによって与えられる恵みの救いです。この季節に特に主の大きな犠牲を覚えます。そしてその時に、私たちも独り子に見習い、恵みの器となり、不幸なものを助ける民になりたいと願っています。これこそ私たちの救いへの感謝の相応しい表し方です。どうか、あなたが与えてくださった数々の恵みを、他の方々にも分かち合い、共々に主を賛美する、ともに喜ぶ者とならしめてください。あなたを賛美する民を一人でも多く増やすことを願って、救い主イエス様によってお祈り致します。